

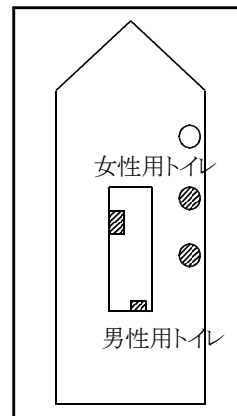
2021年3月12日(木) ヤリイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬 ツレと
 中潮:旧1月28日 満潮14:54(5cm) 干潮18:44(2cm) 満潮 翌日00:29(12cm) 敦賀
 自分:ヤリイカ 3杯
 ツレ:ヤリイカ 8杯 マイカ(胴長21cm) 1杯
 ヤリイカ オス3杯 メス8杯



胴長21cmマイカ



同刺身 イカそうめん イカ短冊



【ヤリイカ胴付き仕掛け】

- 幹糸6号枝間1.2m 上糸1.2m 下糸:1.2m 全長7.2m
 ハリス3号3cm (ハリスの太さは釣果に影響しないとのこと)
- 上から、プラヅノ魚型(水色)、ハイブリッド鉤(赤白)、ハイブリッド鉤(赤緑)、餌撒きスツテ、
 プラヅノ(透明ピンク)
- 途中、自分は次のように変更
 浮きスツテ2.5号(白に赤はちまき)、魚型プラヅノ(透明)、浮きスツテ2.5号(赤白)、
 プラヅノ(透明ピンク) : 4本鉤

<ヒットしたツノ>

- ツレ:一番上:プラヅノ魚型(水色) 2回
 ハイブリッド鉤(赤緑)・ハイブリッド鉤(赤白):ダブル1回
 一番下:プラヅノ(透明ピンク) 5回
- 自分:一番下のプラヅノ(透明ピンク)、一番上の魚型プラヅノ(水色)、魚型プラヅノ(透明)
 → 餌撒きスツテ、浮きスツテはダメだった。プラヅノがよかった。

- おもり 80号 水中ライトなし
- 電動リール 自分:ビーストマスター3000XP ツレ:電動丸3000XH
- 竿 シマノ LIGHTGAME C14 モデラート 7:3 H225 2.25m 錘負荷30-150号 ツレ用
 シマノ YOIKA BB 7:3 2.25m 錘負荷50-120号 自分用

【鉛スツテ仕掛け】

2回とも着底後、根掛かりで鉛スツテ、ドロッパーをなくした。
 四ツ目20号 赤緑と赤白、エビの形をしたスツテ 赤緑と赤白

【料金】

- 船代 ¥12,500×2名 (氷付き) お土産付き

【様子】

- 予想天気図を見て予約した。
- 3番くじだった。右舷、前から2番目3番目に入った。
- 曇り、風はほとんどなかった。酔い止めは午後3時に飲んだ。始め、若干、うねりがあったが、収まっていった。酔わなかった。
- 掛かり釣りだった。掛かり釣りだったが、船は移動していった。
- 「胴付き仕掛けの人は、おもり80号。鉛スツテの人は20号。」とアナウンスがあった。
- リールで底まで48mだった。仕掛けの分をたすと水深55mとなる。
- ヤリイカは終日、底である。
- 以前、底から15mのところでも釣れたことから、底から15mまでを探ってみたが当たりはなかった。
- ツレは、上手に釣っている左隣の人の釣り方をまねてやったら、釣れたと報告に来た。
- その人のスツテは小さめの浮きスツテで釣っていたことから、仕掛けを変えてみることにした。結果的には、これが仇となった。釣れたのはプラヅノばかりだった。
- 当たりがないので、鉛スツテを試すことにした。底まで落とししたら、根掛かりして仕掛けをすべてなくしてしまった。ツレも同様だった。底は岩礁のようだ。他にも根掛かりをしている人がいた。
- 終了20分前にツレが根掛かりで胴付き仕掛けをすべてなくしてしまった。自分が最初に使っていた仕掛けをセットした。終了間際、ツレが納竿のために仕掛けを高速で回収した瞬間に当たりがあった。引く力が強いのでスルメイカと思っていたが、良型マイカだった。
- 集合時間までにベテランさんに最近の釣果を尋ねたところ、釣れていない、今日は10杯も釣れたら良い方だろうとのことだったので、ツレの釣果は上出来である。自分もボウズでなくてよかった。船中、あまり釣れていない様子だった。

【釣り方】

- ①仕掛けを底まで落とす。
 - ②竿をゆっくり振り上げて戻すことを2回繰り返す。
 - ③その後、竿をゆっくり、目一杯振り上げて待つ。
 - ④20秒から30秒くらいか、待つ時間はかなり長い。
 - ⑤当たりがなければ、その位置で竿を2回ほど揺すって誘いを掛ける。
- ※これを電動リールの最低スピードで巻きながら行うこともある。
- 上手に釣っていた隣の方は、おもりを底に着けた状態から、この釣り方をしていたようで、2回ほど、根掛かりで仕掛けをなくしていた。

→ 誘い方やヒットしたツノを確認するために、これまでの釣り日記を読んでから、釣行に臨みたい。